

環境 だより



10月は

食品ロス削減月間です

食品ロスへの関心を高めるため、今年もフードドライブを開催します。フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている方にお渡しをする活動のことです。食べ物を無駄にしない意識を育てることで、可燃ごみの減量を目的としています。

フードドライブ

ご家庭で余った食品をお持ちください。

日時 9月30日(月)から10月3日

(木) 午前9時から午後5時

※正午から午後1時を除く

場所 大口町役場玄関ホール

主催 大口町(環境対策室)

集める食品の条件

①未開封のもの(外装が壊れていても個別包装はOK)



▲昨年のフードドライブ

- ②常温食品であること(冷凍・冷蔵が必要でないもの)
パスタ、インスタント・レトルト食品、缶詰、しょうゆ、みそ、砂糖などの調味料
- ③賞味期限が明記されており、1か月以上残っているもの
- ④お米は開封していてもタッパーなどに入っていればOK
- ⑤アルコールでないこと



家庭でできる取組み

家庭からの食品ロス削減のために、日々の暮らしの中で実践できることは多くあります。

1 事前に 冷蔵庫内などをチェック

メモ書きや携帯・スマホで撮影した画像が有効です。最終ページのチェック表もご活用ください。

2 食品購入は必要ときに 必要な量だけ

●食品ロスが多いのは野菜などの生鮮食品
●調理する分量に応じて少量パックやバラ売りを利用

3 手前に陳列されている 食品をチョイス

家庭での利用予定に照らして消費期限を確認しましょう。

4 ローリングストックの実践

非常食等を定期的に飲食し、使用した分を補充する備蓄方法。いつの間にか賞味期限が切れている、といったことを防ぐことができます。

5 賞味期限と消費期限の違いを理解する

賞味期限 おいしく食べられる期限。この期限が過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。見た目や臭いで個別に判断してください。

消費期限 食べても安全な期限。この期限が過ぎたものは食べない方が安全です。いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。

ふれあい収集

地区の集積場所まで分別ごみ(資源ごみ・不燃ごみ)を排出すること

が困難な方の世帯を対象に、戸別に収集する「ふれあい収集(無償)」をおこなっています。

ふれあい収集対象世帯

- ①から⑥のいずれかに該当する方のみで構成される世帯のうち、身近な人の協力を得ることが困難で、資源ごみ・不燃ごみを排出することができない世帯
- ①集積場までの移動が困難な方で、町が戸別収集をする必要があると認められる方の世帯
- ②介護保険法に基づき、要介護3・4・5の認定を受けている方の世帯
- ③身体障害者1級または2級の認定を受けている方の世帯
- ④精神障害者1級の判定を受けている方の世帯
- ⑤知的障害療育手帳A判定を受けている方の世帯

収集するごみ

分別された資源・不燃ごみ ※可燃ごみは収集しません。

収集回数 1世帯につき毎月1回

ふれあい収集の申込方法

環境対策室にご連絡ください。後日、職員が訪問し、対象世帯確認をおこなひ、収集日を決定します。

問合せ先 環境対策室

☎95-1-61-3